

ダイアボンド DC960E

ダイアボンドDC960Eは、サンドイッチパネルなど建材の接着に好評なロールコーター用クロロプレ
ンゴム系接着剤です。

§ 特長

1. ロールコーター用に粘度調整してあり、ロングタックのため、作業性に優れ、広面積の接着に有効
です。
2. 接着力が高く、初期接着性に優れます。
3. 耐水、耐老化、耐熱性に優れます。
4. 多孔質材料へのしみ込みが少ないため、接着剤のロスが少ないです。

§ 用途

1. ドア、間仕切パネル、家具、テーブル、サイジングボードなど各種建材の接着
 2. その他 木材、金属、石材、ゴム、皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレンゴム
外 観	黄色
不 揮 発 分 (%)	27.0 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20°C	6,000 ~ 12,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	3 ~ 6
粘着保持時間 (分) at20°C	30 ~ 40
保 証 期 間 (月) at25°C	6
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布 ロールコーターで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は，片面当り 150～250 g/m²（両面で 300～500 g/m²）塗布して下さい。
3. はり合せ 常温にて 10～20 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加圧 はり合せ後，充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

	はく離接着強さ (N/25mm)		引張りせん断接着強さ (MPa)		
	鋼板/NR	Al/合板	鋼板/合板	MF/鋼板	
常 態	1 時間	25	20	0.3	0.3
	24 時間	38	36	1.1	0.9
	48 時間	45	42	1.5	1.5
	96 時間	49	45	1.8	1.7
熱老化 70℃×96 時間	57	51	2.5	1.9	
耐 熱 80℃	19	16	0.3	0.2	
耐 寒 -20℃	56	52	2.3	2.0	
耐 水 48 時間	43	30	1.2	1.0	

NR : 加硫天然ゴム Al : アルミノウム板 MF : メラミン化粧板

試験方法 : JIS K 6854 , K 6850 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	80 ~ 90 °C
3 日 目	105 ~ 115 °C
5 日 目	125 ~ 140 °C

試験方法 : JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、口に水を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。